



# STORY

昔から、とある山には山の神が、とある川には川の神が宿っていた。  
そしてここフジサワの地に宿っている神を、我々は竜神さまと呼んでいる。

我々は、竜神さまに守られて暮らしていた。作物の実りも、災いのない日々も、すべて竜神さまのおかげだ。

だからこそ竜神さまへの感謝を忘れたことはない。神殿の神官である私は、お祈りや祭りごとをする役目になり、それは忙しいが充実したものだった。

しかしある日、我々は竜神さまから試練をあたえられた。

空から竜神さまが現れて、いくつかの試練を示された。

そして「これらの試練がなされなければ、「竜神の守り」は無くなると思え」と言うと、ふっと風のように消えてしまったのだ。

なぜこうなってしまったのだろうか……。我々の感謝が足りなかったのか、別の何かが原因か。

私には見当もつかないが、それでもやるしかない。私は神官として1人、試練へ挑むことになった。

竜神さまの意図を知り、そしてフジサワに「竜神の守り」を取り戻すために——。

## 試練1

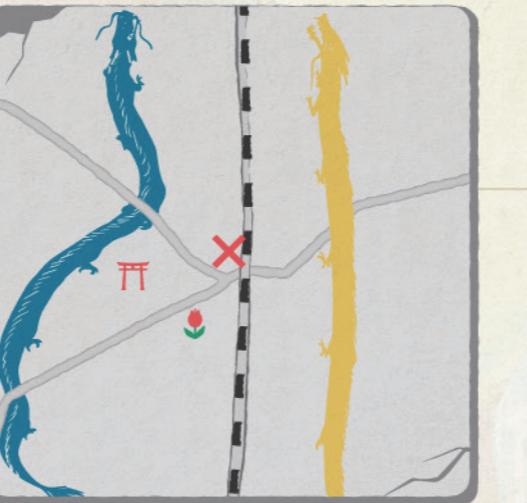
×の地に手があり。

示された場所

三色の丸が集まるものの近くで銀色の板の中を探せ。

現地で見つけた合言葉①

フクロウに報告せよ



## 試練2

あ→み→き→む→だ→も→ち  
の花を読み。

示された場所

し→くの花を読み、  
示されたものの近くを探せ。

現地で見つけた合言葉②

フクロウに報告せよ



## 試練3

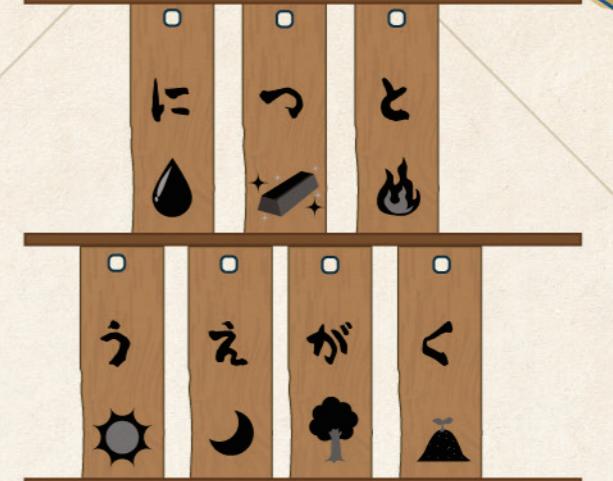
から順に並べろ。

示された場所

2つの石の近くを探せ。

現地で見つけた合言葉③

フクロウに報告せよ



## 試練4

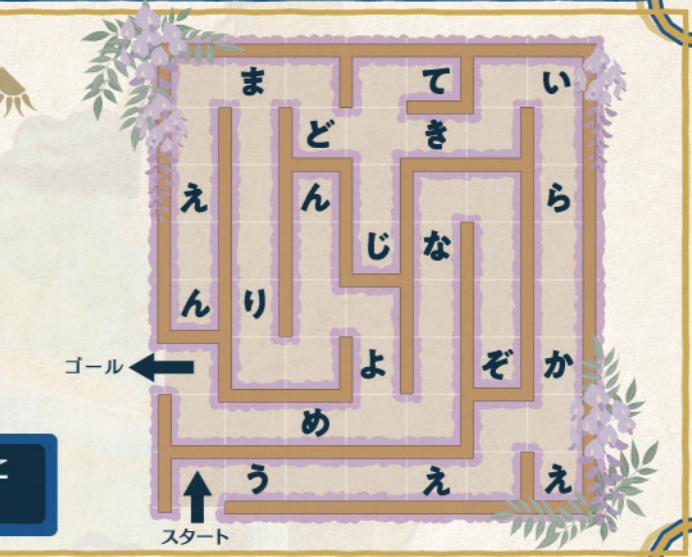
藤棚の迷路を抜けよ。

示された場所

そらの乗り物のとなり、  
陸の生き物のうしろを探せ。

現地で見つけた合言葉④

フクロウに報告せよ



## 最後の試練

言い伝えが書かれた本を修復し、  
人々が忘れし心を思い出せ。  
心の結晶が、あなたを  
宝の元へ導くだろう。

示された場所

結界に守られし石灯の裏に  
宝はあり。

現地で見つけた合言葉⑤

フクロウに報告せよ

